

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000143
事業所名	グループホーム 真寿苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し地域情報を得て、地域の夏祭りや近隣の高校の文化祭に出かけたり、定期的な清掃活動にも参加している。中・高生の職場体験やボランティアなどの受け入れ、保育園児と遊びの交流なども行い地域との繋がりを大切にしている。校区の防災訓練に参加してブースを担当し、災害時の一時避難所としての周知や事業所の広報活動なども入居者と一緒にやっている。「地域の居場所作り」事業として、認知症カフェ「ぬくといカフェ」を公民館で開催し、地域で定着した催しとなっている。散歩や買い物に出かけ、行き交う人と挨拶を交わしたりして、地域と日常的な交流をしている。	評価 ○
重点項目②	入居者の家族、区長や民生委員、医師や薬剤師、市の担当者や包括支援センター職員などの出席を得て2ヶ月に1回、法人全体で開催している。活動報告や情報交換、課題について意見交換や助言などがなされ、活発な話し合いをしている。事業所の防災訓練に参加していただき、率直な意見や助言などを頂いたり、認知症の理解や制度の照会などについて話し合いも適宜行われている。参加者から出された意見や要望は実現に向けて検討し、サービス向上に反映させている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 認定申請書類提出時に市の担当課窓口を訪れ、事業所の状況報告や運営推進会議の報告をしたり、制度や入居事例などについて相談をしてアドバイスを受けるなど、協力し合える関係を築いている。市や連絡協議会主催の会議や研修などに積極的に参加し、情報交換や学びの場として協力関係や連携を図っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日常の会話やケアの中から把握して記録をし、その都度検討してケアに繋げるようにしている。家族からは面会時や行事、運営推進会議、ケアプラン説明時などで意見や要望を聞き運営に反映させている。家族へ毎月担当者による手紙を送ったり、ホーム便りや法人便りが定期的に発行され、家族との絆や信頼感が寄せられている。また、意見箱の常設や年2回サービス向上アンケートを実施し、家族の意見や要望を反映させるようにしている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎			